

診断助成制度の流れ（案）

診断助成制度の流れ

受診後の案内

無料

481か所

第1段階（認知機能検診）

【対象者】
65歳以上の市民（受診券必要）

【検診内容】
・HDS-R/DASC-21/市独自の問診票（BPSDチェック）
※上記をもとに医師が診察し結果を判断

【結果】
1. 認知症の疑いなし
2. 認知症の疑いあり
3. 新薬適用の可能性あり
（新薬希望あり・自覚症状あり・大きな脳卒中の既往歴無し）

検診後

【結果にかかわらず】
・運転免許自主返納リーフレットの交付
・「人生会議（ACP）のすすめ」リーフレットの交付

保険診療助成対象

60か所

第2段階（認知機能精密検査）

【対象者】
第1段階で結果「認知症の疑いあり」または「新薬適用の可能性あり」とされた者

【検査内容】
画像検査や心理検査等を保険診療で実施
※「にも第2段階」へ紹介する場合はMMSE必須

【結果】
・「認知症/MCI/認知症でない」を病名も含め診断
・新薬投与対象者の可能性がある（※）場合「にも第2段階」へ紹介

※「にも第2段階」への紹介要件

- ・原因としてアルツハイマー病が疑われる
- ・本人及び家族に投与希望がある
- ・MMSEが20点以上

「疑いあり」または「新薬適用の可能性あり」

第2段階で検査終了

結果に応じた診断後案内を実施

【結果にかかわらず】
・認知症ケアパスの交付

【結果：認知症】
・あんしんすこやかセンター等の窓口を紹介

【結果：MCI】
・リーフレット交付し、以下について説明
○フレイル改善通所サービス
○人生会議（ACP）
○健康づくり（運動・食事・生活習慣病等）
・フレイル改善通所サービスのチラシを交付
・今後の経過観察について説明

8か所

認知症新薬にも対応した第2段階（精密検査・投与）

【対象者】
第2段階で「新薬投与対象者の可能性あり」とされた者

【検査内容】
厚生労働省の最適使用推進ガイドラインに基づき必要な検査を実施（アミロイドPET・GSF等）

【結果】
「認知症/MCI/認知症でない」を病名も含め診断のうえ、新薬の投与可否を判断

投与対象者の可能性あり

新薬投与対象外

【結果：認知症でない】
・翌年度、第1段階を再受診可能であることを説明

新薬投与対象

・新薬を投与

【6カ月後】
・認知症新薬フォローアップ機関を紹介

※投与開始後の薬代及び治療費は助成の対象外